

ヨコハマ市民まち普請事業 令和元年度一次コンテストの結果について

【日 時】 令和元年7月13日（土）10:00～17:45

【場 所】 一般社団法人横浜みなとみらい21プレゼンテーションルーム

【来場者】 211人

整備提案名	提案グループ名 【区】	投票 審査 委員 数	得票 数	選考 結果	提案概要
夢でつながるコミュニティカフェとフリースペース	声の健康推進協会 【西】	8	8		商店街の空き店舗を活用し、誰もが気軽に立ち寄ることができる小さな夢を叶える居場所を整備
コミュニティカフェの新設	icocca（いこっか憩家）【港南】	8	16	○	賃貸店舗を改装し、ほっとできるみんなの憩家をコンセプトに、カフェやワークショップを開いて、世代を問わずおしゃべりができる場をつくる
たかのす公園集会所建設整備計画	たかのす自治会建設委員会・集会所計画チーム【港南】	8	13	○	公園利用者や住民が気軽に利用できる集会所（コミュニティリビング）を公園内に整備
みんなの絵本のお家	おはなしの風【泉】	8	14	○	高架下に新築される建物内に、絵本の読み聞かせやイベントを開催する拠点を整備
まちへの愛着を育てるサインづくり	羽沢横浜国大新駅周辺地域の魅力あるまちづくり推進会【保土谷・神奈川】	6	6		新駅周辺の通りに案内看板や掲示板を設置し、道に愛称をつけることで、魅力ある歩行者空間を整備
いつでも使える地域に必要な“生活用水”の確保	地域の“生活用水”を確保する会【港南】	6	6		多世代かつ多分野が横断的にかかわるコミュニケーションプラットフォームとしてイベントスペースを整備
横浜永田・里山整備ステーション	横浜永田・里山を守る会【南】	8	15	○	雑木竹林のすそ野の草地に、里山整備ステーション施設として倉庫兼作業場を設けて、そこを拠点に雑木竹林を整備
健康HUBステーション『Wiseman-Cafe』	『Member=Wiseman』【戸塚】	7	9		メンバー宅の駐車スペースを活用し、健康維持増進をテーマとした施設を整備
カベを取り払ってみんなが自由になる「ひろば」づくり	菊名・錦が丘にみんなの“ひろば”をつくる会【港北】	8	15	○	拠点となる空き家のアプローチ部分を多世代が利用しやすい仕様に整備

井戸端「ささげテラハ」～多世代コミュニティ拠点～	sasage5235 プロジェクト【港南】	8	11		3階建て店舗兼住宅の2階部分を地域交流の場所として整備し、地域の相互扶助の拠点を実現
農×教育×観光による循環型社会的観光農業プラン	横浜金澤アーバンアグリカルチャー・デザインセンター【金沢】	8	13	○	地域、学生、企業などコミュニケーションプラットフォームとして、遊休農地にコミュニティファームとなるイベントスペースなどを整備
Wi-Fi を活用した災害に強いまちづくり	高舟台防災まち普請推進委員会【金沢】	4	4		いっとき避難場所及び災害対策本部に災害時の情報伝達を行うための防災情報設備機器を設置

■ 今後の予定

令和元年 9月 7日 (土) : 二次コンテスト対象提案 活動懇談会

令和元年 10月 26日 (土) : 二次コンテスト対象提案 現地視察

令和2年 1月 25日 (土) : 二次コンテスト (令和2年度整備助成対象提案の選考)

令和2年 2月 15日 (土) : 平成30年度整備成果報告会・パネルディスカッション

ヨコハマ市民まち普請事業 令和元年度 一次コンテスト選考結果！ ～6団体が二次コンテストに進みます～



「ヨコハマ市民まち普請事業」は、市民の皆様から地域の課題解決や魅力向上のための施設整備に関する提案を募集し、二段階の公開コンテストで選考された提案に対し、最大500万円の整備助成金を交付するなど、市民の皆様が主体となったまちづくりを支援する横浜市独自の事業です。これまで、地域交流や高齢者の見守り、子育て支援、自然環境の保全、歴史資源の活用、防災、防犯などの施設が整備され、地域コミュニティの活性化が図られてきました。

令和元年7月13日（土）に一般社団法人横浜みなとみらい21プレゼンテーションルームにおいて、一次コンテストが開催されました。

12団体から提案の発表が行われた会場には、約200名もの方々が集まり、例年にも増して熱気にあふれていました。その中から二次コンテストの対象となる6団体が選考されました！

一次コンテストを通過した6団体は、令和2年1月25日（土）開催予定の二次コンテストに向けて、提案の実現性や地域まちづくりへの発展性が高まるよう、提案内容を磨き上げていきます。

<一次コンテストの様子>

■プレゼンテーション



■審査員による意見交換



■ポスターセッション



■公開議論・質疑



■最終PR



■選考結果



団体名	1次コンテスト得点	2次コンテスト得点	選考結果
横浜みなとみらい21	7.5	7.5	二次コンテスト進出
横浜環境創造センター	7.0	7.0	二次コンテスト進出
横浜まちづくりセンター	6.5	6.5	二次コンテスト進出
横浜まちづくりセンター	6.0	6.0	二次コンテスト進出
横浜まちづくりセンター	5.5	5.5	二次コンテスト進出
横浜まちづくりセンター	5.0	5.0	二次コンテスト進出
横浜まちづくりセンター	4.5	4.5	二次コンテスト進出
横浜まちづくりセンター	4.0	4.0	二次コンテスト進出
横浜まちづくりセンター	3.5	3.5	二次コンテスト進出
横浜まちづくりセンター	3.0	3.0	二次コンテスト進出
横浜まちづくりセンター	2.5	2.5	二次コンテスト進出
横浜まちづくりセンター	2.0	2.0	二次コンテスト進出
横浜まちづくりセンター	1.5	1.5	二次コンテスト進出
横浜まちづくりセンター	1.0	1.0	二次コンテスト進出
横浜まちづくりセンター	0.5	0.5	二次コンテスト進出
横浜まちづくりセンター	0.0	0.0	二次コンテスト進出

一次コンテスト選考結果（二次コンテスト対象提案一覧）



コミュニティカフェの新設(港南区) <グループ名:icocca(いこっか 憩家)>

賃貸店舗を改装し、キッチンの新設やトイレのバリアフリー化を行うことで多世代交流拠点を整備



たかのす公園集会所建設整備計画(港南区) <グループ名:たかのす自治会建設委員会・集会所計画チーム>

公園利用者や住民が気軽に利用できる集会所（コミュニティリビング）を公園内に整備



みんなの絵本のお家(泉区) <グループ名:おはなしの風>

高架下に新築される建物内に、絵本の読み聞かせやイベントを開催する拠点を整備



横浜永田・里山整備ステーション(南区) <グループ名:横浜永田・里山を守る会>

雑木竹林及び草地に、里山保全の活動拠点となる作業場や炭焼き窯等を整備



カベを取り払ってみんなが自由になる「ひろば」づくり(港北区) <グループ名:菊名・錦が丘にみんなの“ひろば”をつくる会>

拠点となる空き家のアプローチ部分を多世代が利用しやすい仕様に整備

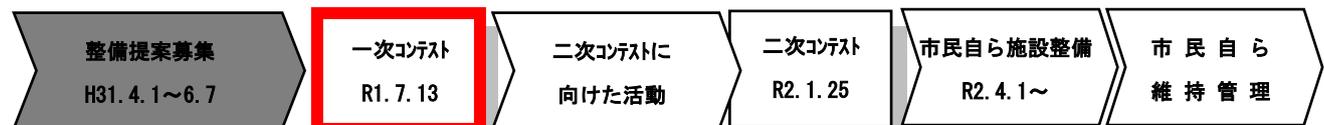


農×教育×観光による循環型社会的観光農業プラン(金沢区) <グループ名:横浜金澤アーバンアグリカルチャー・デザインセンター>

多世代かつ多分野が横断的にかかわるコミュニケーションプラットフォームとしてイベントスペースを整備



事業の流れ（予定）



お問合せ先

都市整備局地域まちづくり課担当課長

甲斐 泰夫

Tel 045-671-2665

地域まちづくり活動を対象としたクラウドファンディング活用支援事業の 試行に関する効果検証（案）について

1 クラウドファンディング活用支援事業の概要

- (1) 事業概要：資料 2－3（昨年度部会資料参照）
- (2) 事業実績：マッチング 2 件、支援者数合計 254 人

区	プロジェクト名	実施団体名	クラウドファンディング企業
西 区	世界一気軽な異文化 体験「CASACO の世 界の朝ごはん」レシ ピ本を作りたい！」	NPO 法人 Connection of the Children	株式会社朝日新聞社
		■実施期間：2019 年 5 月 8 日（水）～7 月 14 日（日） ■資金調達状況：達成 ■支援者数：137 人	
南 区	「子育てママ達の挑 戦！中村町にみんな で支え合う拠点づく り！」	おもいやり隊	アカデミック・リソース・ガイド 株式会社、READYFOR 株式会社
		■実施期間：2019 年 4 月 24 日（水）～6 月 28 日（金） ■資金調達状況：達成 ■支援者数：117 人	

2 効果検証のねらい

- (1) 支援事業における取組内容及び調達資金等の状況の客観的把握
- (2) 事業実施による広報効果及び人的ネットワーク形成等の副次的効果の定性的把握
- (3) 支援内容の良かった点、効果的だった点及び改善すべき点の把握

3 効果検証の方法

資料 2－2：事前アンケート兼ヒアリングシートによる効果検証（案）

4 効果検証の対象

- ・地域まちづくり活動団体のクラウドファンディング担当者
- ・クラウドファンディング企業の支援担当者
- ・地域まちづくり課担当職員

5 効果検証内容の活用

効果検証で把握した内容を元に、「クラウドファンディングによる地域まちづくり推進に関する手引き」などとしてまとめることで、当該支援事業の効率化と今後のプロジェクトの成功率向上を図ります。